



薩摩 博
(よねしろ会)

木のまちづくり 推進事業

質問 地元の工場から生産される各種の木材・木製品を住宅の新築や増築する市民に応分の金額内で無償提供された「秋田スギの温もり」推進事業の3年間の成果と課題は。また、新年度に取り組む事業の概要と今後の対応は。

答弁 本事業を利用された方からは喜びの声が寄せられているほか、木製品を販売する指定事業所や工務店からも好評を得ている。また、要望のあった外装材についても補助対象としたところ3件の実績があった。秋田スギの活用、地元業界の育成などから大変効果があったと考えており、「秋田スギの温もり」補助金は今後2年間さらに継続して取り組むこととし、19年度は新たに建築確認申請を伴わないリフォームも補助対象とする。秋田スギの香りや温もりのよさをアピールし、きめ細やかな対応を指定事業者などと連携して取り組んでいく。

学校給食費の未納

質問 低所得者の生活環境は厳しい状況にあり、経済的理由で未納している世帯について教育扶助や就学援助の活用などの救済措置が必要では。また、教育委員会としての今後の対応は。

答弁 未納世帯は、17年度で旧能代市はないが、旧二ツ井町は19世帯で未納児童生徒数は合計32人で全児童生徒の約2・6%となっている。景気の低迷による経済的理由で未納となっている世帯がふえてきている。これら未納世帯に対し、市教育委員会では就学援助制度の活用を勧めており、今年度は新たにこの制度を活用することで納入できるようにした世帯もある。今後の対応については、引き続き学校との連携を一層強め、給食費の納入を強く働きかけていく。また、現在、能代地域と二ツ井地域で異なっている集金方法の見直しについても検討していく。

薩摩議員のその他の質問事項

- 。市に寄贈された絵画等の展示
- 。地震などの自然災害対策



安岡 明雄
(市民の声)

イオン出店を容認した 市長判断の要因は

質問 税収増が約1億円あると説明している。仮に1億円増収すれば交付税が7350万円減額になるため2650万円が実質上の増収となる。このような分かりやすい説明をしなかった理由はなぜか。また「出店の影響予測は数値の根拠が危うい、将来に対する推計がない」との指摘に対し市長は「精度を高める」としたが、精度は高まったのか。

答弁 普通交付税だけで単純に計算すると、市税収入の73・5%は基準財政収入額に算入される。シミュレーションは市税収入の増加について推計した。また、精度については限られた時間と情報の中、出典が明らかになる情報の活用で信頼が高まるよう最大限努力し作成したつもりである。

出店に関わる 共存と行政の責任

質問 イオンが企業間競争に勝ち抜くため、既存店の従業員不足を狙うのは当然だ。そのような巨大企業と共存できるのか。市長は「地元が利が上がるように交渉する」と述べているが、交渉が芳しくなければ許可を与えないのか。撤退時の対応とは何か。また、市の将来に有益とし出店容認と判断したなら市民に対し「結果責任を果たす」と公約し決意を示すべき。

答弁 シミュレーションでは地元雇用は1810人と見込み、イオン秋田SCの情報をもとに時給を平均750円とした。イオンとの交渉は出店の見通しがたつた時点でジャスコ能代店の存続を含め、地元への波及効果が高まるよう話したい。土地は、賃貸借による出店者と地権者との民事契約だが、撤退時の対応については、適正な跡地利用、閉鎖店舗の管理、地権者との円満な契約終了などを今後の検討課題ととらえる。イオンの出店問題は市長選挙の争点であり、イオンとの交渉のテーブルについて判断したいと話した。また、中心市街地の活性化は出店の有無にかかわらず取り組むと今回のイオン出店問題の判断をする以前から繰り返して話してきた。

安岡議員のその他の質問事項

- 。職員の意識の把握について
- 。めり張りがきいた給与体系等役所を変える具体的な考えを